

特長

- きひ効果** 殺虫ではなく、虫自ら去ってしまう環境を作ります。死骸などが残りません。
- 孵化抑制効果** 生みつけられた卵が孵化しないので、より高いきひ効果が得られます。
- 抗菌・防カビ効果** 大腸菌・黄色ブドウ球菌などに対する抗菌効果を得ています。



使用の目安
1㎡あたり
約10cc
(スプレー回数、約10回)



**開店前、清掃の後
陳列棚や出入口に。**
スプレーし、ペーパータオルなどで軽くのばします。
床にも同様に行くと空間のきひ効果が高まります。

成分 10数種類の植物エキスを配合

- ◆よもぎエキス◆どくだみエキス◆緑茶エキス◆茎茶エキス◆熊笹エキス
- ◆朝鮮人參葉炭化エキス◆山椒葉炭化エキス◆檜地下茎エキス◆菖蒲葉エキス
- ◆びわ葉エキス◆ボウフウエキス◆ダイオウエキス◆月桃エキス
- ◆唐辛子エキス◆ワサビエキス (各商品によって成分と配合率が異なります。)

デサピア使用時のきひ率と孵化率

試験害虫	結果			
	きひ率 (%)		孵化率 (%)	
	デサピア	未加工品	デサピア	未加工品
スジコナダラメイガ (貯穀害虫)	86	14	0	54
タバコシバンムシ (貯穀害虫)	88	12	0	56
ココヌストモドキ (貯穀害虫)	90	10	0	53
ココクゾウムシ (貯穀害虫)	80	20	*1	*1
コナヒョウダニ (衛生害虫)	86	14	0	55
チャバネゴキブリ (衛生害虫)	100	0	0	52
クロゴキブリ (衛生害虫)	100	0	0	52
チャタテムシ (不快害虫)	*1	*1	0	52



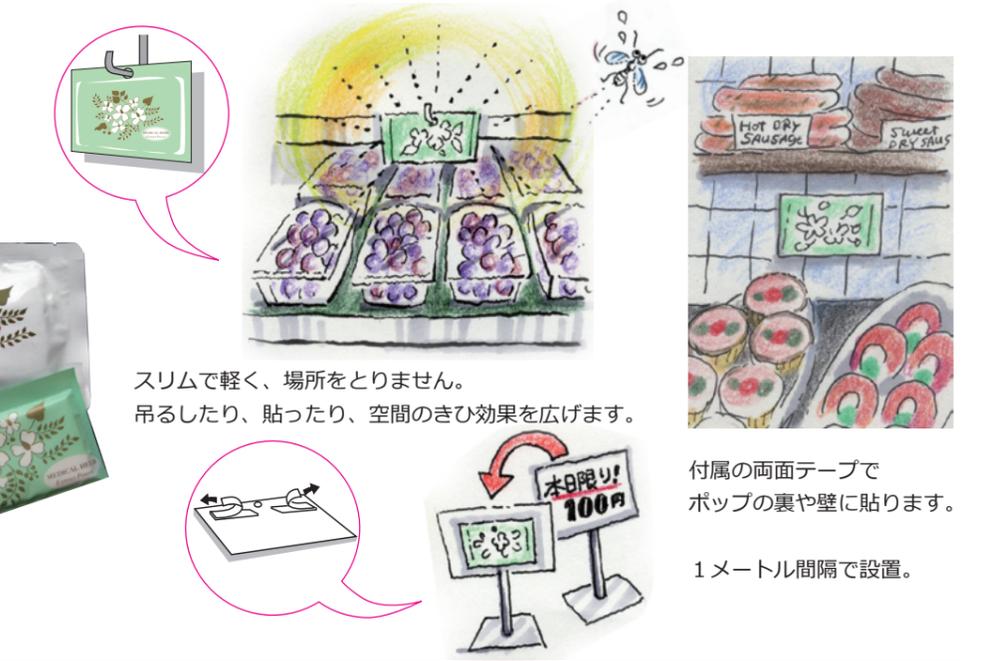
きひ試験
試験容器の中で加工品、未加工品の区域を設け、必要に応じ誘引性のある餌を両方の区域に設置し、その中間地点に放虫し、設定した時間内の供試虫の各区域への移動数をカウントし、その移動数を全体数で割りきひ率を算出した。

孵化抑制試験
加工品、未加工品の検体の上に、供試虫の卵を置き、孵化に必要な温度、時間をかけ加工品、未加工品の孵化数をカウントし、その孵化数を卵の全体数で割り孵化率を算出した

「*1：率の試験は未試験。効果試験は実施済み」
加工品は主に紙にデサピアを塗布したものを設置しています。(詳細はお問い合わせください)



効果期間：約1ヶ月

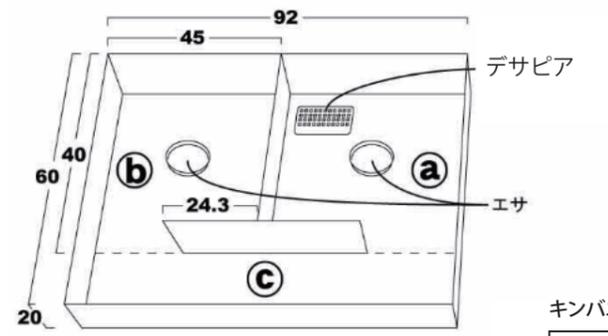


スリムで軽く、場所をとりません。
吊るしたり、貼ったり、空間のきひ効果を広げます。

付属の両面テープで
ポップの裏や壁に貼ります。

1メートル間隔で設置。

チャバネゴキブリとキンバエでのきひ試験結果



<試験方法>
発泡スチロール製容器を試験容器として使用し、中間にT字の仕切りをして、デサピアを(a)エリアに置き、(a)(b)エリア両方に飼料に水を含ませたものを置き、(c)の中央地点を放虫箇所とした。その後、各時間経過後の虫の位置と頭数を数えた。

チャバネゴキブリ…放虫数 25匹
キンバエ…放虫数 51匹

※図のサイズはキンバエの試験容器です

チャバネゴキブリ

	(a) デサピア	(b) なし	(c) 中間
10分後	1	21	3
20分後	0	22	3
30分後	0	24	1

キンバエ

	(a) デサピア	(b) なし	(c) 中間
10分後	8	28	15
20分後	4	28	19
30分後	5	24	22
40分後	3	22	26
50分後	2	23	26
60分後	2	24	25

有効対象 (試験結果のあるもの)

- 【衛生害虫・害獣】** アカイエカ、ヒトスジシマカ、クロゴキブリ、チャバネゴキブリ、ワモンゴキブリ、コナヒョウダニ、ヤケヒョウダニ、ケナガコナダニ、キヒロショウジョウバエ、イエバエ、キンバエ、ネズミ
- 【貯穀害虫】** コクゾウムシ、ココクゾウムシ、コナナガシクイムシ、バクガ、ノシメダラメイガ、スジコナダラメイガ、シロオビノメイガ、チャタテムシ
- 【不快害虫】** コイガ、チャコウラナメクジ、モモアカアブラムシ、ココヌストモドキ、タバコシバンムシ、コナナガシクイ、ワクモ、アカアリ、トビロケアリ、シロアリ、カメムシ、ムカデ
…etc



効果期間：約1ヶ月



陳列棚の隙間や
バックヤードに
3~6畳に1個
の割合で置きます。